

# 2013年度第1回 サロン 2002 理事会報告

【日 時】2013年4月20日（土） 14：15～15：50（16：00から月例会、18：15から懇親会）

【会 場】筑波大学附属高校会議室

【出席（敬称略）】

理事：中塚 義実（理事長）、笹原勉、高田敏志、本多 克己

運営委員：室田真人

【委任（敬称略）】

理事：岸卓巨、嶋崎雅樹

【議 題】（5月6日の総会に提出できるよう、以下について議論する）

- I. 2012年度総括（事業報告及び決算） … 赤字の現状把握
- II. 2013年度準備（事業計画及び予算） … 活動方針／事務局機能の充実／組織基盤の確立
- III. 規約の改廃 … 必要があれば
- IV. その他サロンに関する重要事項 … 法人化へ向けて

## ■議題 I：2012年度の総括

### 1. 会費納入状況について

2012年度の入会意思表示者は182名。うち、2013年4月14日時点で、名簿未提出者1名、会費未納者17名、未確認会費支払者1名いる。2012年度の手続きを終えた正会員は163名（うち3名は、2011年度10月以降入会のため会費免除）。

未納者17名にはすでに何度か督促しているにもかかわらず、いまだ入金を確認できない。

最終期限を「総会前日」として個別に最後の督促に当たる。入金が確認されなかった場合、自動的に退会扱いとする（2012年度から会員ではなかったことが確定される）。

＜2013年4月14日時点での、“2012年度”会費未納者（17名）＞

☆大塚正洋、☆梶田孝史、★岸田雅隆、★黒田和生、★小島裕範、☆佐藤いちろう、☆竹下誠一、☆多田寛、☆長岡茂、★中曾千鶴子、★中林良輔、☆武藤文雄、☆両角晶仁、☆安松幹展、☆山田告人、☆吉澤正悟、★Ben Mabley

注）☆は中塚義実が、★は本多克己が督促。黒田氏にメールが届いていない可能性がある所以要確認

なお2012年度の反省点として、督促が適切に為されていなかったことが指摘された。年度途中、たとえば9月末日段階で一度未納者をチェックして本人に知らせることが必要。

次の会計担当者にきちんと引き継ぐことが確認された（室田氏は2012年度限りで交代）。

### 2. 事業報告及び決算

年度末総会の時点では中間報告だったが、5月の総会で最終報告ができるように、会計担当の室田氏の資料をもとに決算の確認をした。

2012年度の各事業はおおむね終了した。公開シンポジウム「U-18 フットサルを語ろう」報告書は2013年度事業扱いとなる。

決算報告案は別紙の通り。史上初めての赤字決算となる見込み。主な原因は、収入の減少（会費未

納者分と、一律 3,000 円／年として以降の寄付金減少) と、旅費の増大にある。

総会までに、会費未納者への最終勧告を実施して収入アップを図るとともに、未執行分(未払い等)を執行し、2012 年度監事の笹原氏に監査していただく。

<2013年4月20日時点での2012年度決算>

【収入の部】

|        |          |
|--------|----------|
| 会費受入   | 486,000円 |
| 寄付金    | 41,000円  |
| 雑収入    | 29円      |
| 前年度繰越金 | 71,164円  |
| 収入計    | 598,193円 |

【支出の部】

|                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 月例会補助                         | 1,000円   |
| プロジェクト補助                      | 126,695円 |
| (シンポジウム補助&ケニア支援)              |          |
| 事務費                           | 497,361円 |
| (旅費188,040円、印刷製本164,600円、通信運搬 |          |
| 20,456円、雑役務124,005円、消耗品260円)  |          |
| 予備費                           | 0円       |
| 支出計                           | 625,056円 |

【繰越金】 598,193円－625,056円＝-26,863円

<参考： 2011年度決算(2012年5月8日)>

【収入の部】

|        |          |
|--------|----------|
| 会費受入   | 486,000円 |
| 寄付金    | 41,000円  |
| 雑収入    | 26円      |
| 前年度繰越金 | 64,467円  |
| 収入計    | 591,493円 |

(2009年度は656,107円、2010年度は711,440円)

【支出の部】

|                              |          |
|------------------------------|----------|
| 月例会補助                        | 19,000円  |
| プロジェクト補助                     | 86,817円  |
| (すべてシンポジウム関係)                |          |
| 事務費                          | 414,512円 |
| (旅費72,760円、印刷製本167,265円、通信運搬 |          |
| 53,132円、雑役務121,355円、消耗品0円)   |          |
| 予備費                          | 0円       |
| 支出計                          | 520,329円 |

【繰越金】 591,493円－520,329円＝71,164円

## ■議題Ⅱ. 2013年度の準備

### 1. 入退会について(2013年度名簿進捗状況)

3月25日(月)～4月25日(木)を2013年度会員募集期間としている。4月22日(月)23:30時点では次のとおり(理事会後の動向を含む)

<名簿原稿提出者 46名> ★は変更なし。下波線は2012年10月以降の入会申請者、新入会はなし

3/26 笠野英弘、牛木素吉郎、高橋義雄

3/27 佐藤真成

3/28 熊谷建志

4/2 伊田翔平、茅野英一、山内紘子、土谷享、豊田幸夫、由利英明

4/3 今橋富士夫

4/4 佐藤清志

4/7 金子正彦

4/8 森政憲

4/9 田中俊也、白井久明

4/10 宮本暁史、名方幸彦

4/12 竹内傑

4/13 河野博文

4/14 安部久貴、岸卓巨、★河本雅彦

- 4/15 ★春日清彦、角脇拓也、★小幡真一郎、★齋藤健司  
4/16 菊地悟、高田勝敏、★小澤響平、石坂友司、井田征次郎、麓信義、白髭隆幸、加納樹里  
4/17 賀川浩、本多克己、伊藤慧  
4/19 井上俊也、井上俊彦、★屋繁男  
4/20 ★猪狩翔、★松村健一  
4/21 浦和俊介、  
4/22 ★田中理恵

<退会される方>

- 3/21 秋山祐輔  
3/26 橋口宏樹  
4/1 久保英明

<2012年度中に亡くなられた方>

泉優二 … 2013年1月6日逝去。心よりご冥福をお祈りします

※締切を4月25日(木)としていたが、名簿作成作業を担う運営委員の室田氏から、データを整理するのは5月3~6の連休中になるので5月2日(木)までなら受付可能とのこと。よって、遅くとも5月2日までに、できるだけ4月中に名簿原稿を提出するよう、案内することとした。

※慶弔に関する規定をサロン2002では持たず、訃報については個人的に対応してきた。これまで平田生雄さん(2008年度)、吉村修さん(2010年度)がサロン会員在籍期間中に亡くなられた。

泉優二さんは文筆家・映像作家として著名な方だが、その一方で大田区初の少年サッカークラブを1976年に創設、長年にわたって少年の指導現場に立ち、現場目線でのコラムを多数書かれていた。サロンの月例会でも、子どもたちに温かく、おかしな大人に対して鋭い指摘をされていたのを思い出す。心よりご冥福を申し上げます。

## 2. 組織について

### 1) 理事の役割

2013~2014年度理事会の役割を審議した。

理事長は互選で中塚が選出されていた。理事会では副理事長と各担当を話し合った。次の通り。

<理事 役割分担>

- 中塚義実 … 理事長 : 総括  
笹原 勉 … 副理事長 : 企画・月例会等  
本多克己 … 理事 : 広報・ホームページ管理  
岸 卓巨 … 理事 : C.F.O. (Chief Financial Officer)  
高田敏志 … 理事 : 企画・公開シンポジウム等  
嶋崎雅規 … 理事 : 企画・月例会等

### 2) 運営委員の選任

運営委員だった岸卓巨氏が理事になったこと、本年度滞った会計業務の見直しが必要ということ、関西サロンの定例化が必要とのことで、運営委員を改めて見直した。

会計業務は、運営委員の室田氏が担っているが、本業の関係で継続することが困難とのこと。もともと岸卓巨氏が運営委員として担っていた業務を引き継いだ形であったが、9月の岸氏帰国後は再び、

岸氏に会計業務全般を担っていただきたい(名称は C.F.O.とした)。岸氏帰国までは室田氏が担うものとし、室田氏の名前をそのまま残す形とする。なお補佐役として会計担当運営委員を新たに加えることも視野に入れて調整する(岸理事が帰国後、どの程度担っていただけるかが未確認なため)。

事業担当運営委員も、さしあたり 2012 年度のまま。関西の 3 名にやっていただくのは、2012 年度に 1 回しか開催できなかった「関西サロン」の定例化を進めてもらいたいというメッセージでもある。活性化させてほしい(年 4 回は開催を！)

- 一 会計担当 … 室田真人 → 9 月まで。9 月以降は岸理事が担う(できれば補佐役を置く)
- 二 名簿担当 … 室田真人 → 9 月まで。9 月以降は岸理事が担う(できれば補佐役を置く)
- 三 メーリングリスト担当 … 熊谷建志(従来どおり)
- 四 ホームページ担当 … 理事が担うため置かない(従来どおり)
- 五 月例会の運営その他の事業担当 … 宮川淑人、赤尾修、高原渉 → 今後増員を検討

### 3. 事業計画および予算

#### 1) 月例会

中塚私案として、事前に以下を提示した。

- ・「体罰問題」をきっかけに、「スポーツ指導者のあり方」が社会的に大きく取り上げられています。サロンでも取り上げられないでしょうか？
- ・「U-18 のフットボール」を一つの柱にできないか。全国大会となる「U-18 フットサル」はサロン会員が担い手となって展開していきたく、DUO リーグに始まる「ユース(U-15、U-18)サッカーリーグ」の現状把握にも努めたい。サロンが積極的にリサーチし、情報発信していきたい。
- ・「竹腰重丸を語る」機会を 2013 年度中に東京都内で設ける。また、サロン会員の井田征次郎氏が、この 4 月から遼寧省 U-19 代表チームのフィジカルコーチとして大連にいる。今年は 4 年に一度の「国民大運動会」(中国の国内オリンピック)でもあり、「サロン in 大連」ができる面白い。
- ・2014 年 2 月 1 日(土)の筑波大学 vs YCAC サッカー交流戦が 110 回記念大会となる。中村覚之助を再び取り上げるとともに、アートとの連携で何かできないか模索中。サロンも関わりたい。
- ・2019 年のラグビー W 杯へ向けて、サロンでも継続して取り上げたい。
- ・2020 年に東京にオリンピックは来るのか。何らかの形で取り上げたい。
- ・「サロン in 桑名」は実現させたい(山下則之氏からのメールと添付ファイル参照)  
注) 添付ファイルは理事・監事・運営委員限定です。決して転送などしないように！
- ・中塚は 8 月に「第 9 回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム」に 2 名の生徒の引率でリレハンメルへ出かける。その報告会を月例会で行いたい。

これに対して理事、関係者から事前にメールをいただき(補足資料参照)、理事会で議論した。次の通り。

- ・「サロン in 桑名」のアイデアは、山下則之氏から 3 月末のオーシャンアリーナでお聞きしたもの。「三重県桑名市の総合型スポーツクラブ、ヴィアテン桑名 <http://www.veertien.jp/>」の取り組みが非常に興味深い。一度サロンで取り上げてみてはどうか」というもの。8 月 31 日には川淵三郎氏が講演されるらしい。その前にどうだろうかとの提案。前向きに検討したい。
- ・「サロン in 大連」については、井田氏が現地へ赴任して落ち着いた段階で可能性をさぐる。笹原氏が月例会で紹介した「おじんカップ(アジア各国駐在邦人によるサッカー大会)」が、今年は北京で開催されるらしい。いまがチャンスかもしれない。
- ・嶋崎理事より、「スポーツ指導者のあり方」について、および 6 月 15 日のラグビー日本代表のテストマッチに絡めた企画について提案があった。6 月はこれでいきたい。
- ・ここ数年、年度ごとにメインテーマを設け、月例会をテーマに沿って展開しつつ、公開シンポジウムに持っていく形であったが、本年度は多様なテーマがすでに出ている。これらをその都度追う形でよいのではないか。

- ・「サロン 2002」そのものについて取り上げる機会も必要。むしろメインテーマは「サロン 2002 の法人化」としたい。

## 2) プロジェクト（公開シンポジウム）

本年度のメインテーマは「サロン 2002 の法人化」。しかしこれは公開シンポジウムのテーマにはなじまない。公開シンポジウムについては、月例会で出てきた話題を膨らませながら考えていく。

## 3) サロンと目的を同じくする団体の事業への参加

東日本大震災の復興支援、ケニア・プロジェクトなど、社会貢献活動に取り組みたい。

また、「日本サッカー史研究会」等との連携で、中村覚之助、竹腰重丸を語る会を設けたい。

さらに、千葉県の「スポーツとアートの会」、あるいは「ビバ！サッカー研究会」や「ヨココム」など、これまでのつながりを引き続き大事にしていきたい。

他の組織と連携を図る際に「あやしい集団」と思われたいためにも、「サロン 2002 の法人化」が求められる。

## 4) ホームページの運営

特になし

## ■議題Ⅲ：規約の改廃

特になし

## ■議題Ⅳ：その他サロンに関する重要事項

「サロンの法人化」について議論の背景を確認し、意見交換した。理事会では「NPO法人として再出発する時期に来ている」との認識で合意した。その根拠はおおむね次の通り。

### ◆事務局機能を強化したい

“プロ意識を持ったボランティア” と、“ボランティア精神を持ったプロ” で運営してきたが、いまのままだと、現状が限界。いま以上を求めるなら、事務局機能の強化は不可欠！

### ◆組織としての姿がみえるようにしたい

- ・他の組織と連携を図る際に、法的にも対等の姿で対応したい。「いったいあなた方は何者ですか？」  
「まだNPOじゃなかったの？」に答えられるように

- ・補助金等の受け皿となれるようにしておきたい → これがもっとも大きな理由

### ◆事業の担い手としての“サロン2002”になりたい

- ・月例会、公開シンポジウム、出張サロンなど、これまでやってきた事業は従来組織でも可能。法人格取得にともない、より規模を拡大して実施できる（補助金利用など）

- ・“ゆたかなくらし”を志向する良い活動の担い手となっていきたい。それは可能か？

例) DUOリーグの事務局をサロン2002が担うことは？

例) 「リサイクルプロジェクト」「スキンプロジェクト」を担うことは？

こうしたことを踏まえ、「サロン2002の法人化」については「是非」を問うよりも、「いつ踏み切るか」の問題であるとの認識に至る。

この部分について総会ではかりたい。また、具体的な作業スケジュールを議論したい。

以上（文責：中塚義実）

## ＜補足資料＞

### ◆月例会で取り上げられたサロン2002の「これまでとこれから」（月例会資料参照）

＜1998年度＞

- ・NPO法について／サロン2002のこれまでとこれから（1999年1/29）

＜1999年度＞

- ・サロン2002(Ver.2000～2001)について（2000年3/27）

＜2000年度＞ ... 会員制導入。規約を整備し「総会」を開く

- ・サロン2002のホームページをどう活かすか（2001年1/25）

＜2001年度＞

- ・2002年（以降）のサロン2002を考える①②③（2002年1/29、2/27、3/25）

注）③はワールドカップの“物語”をいかに集めるか(ワールドカッププロジェクトⅡ)

＜2002年度＞ ... FIFAワールドカップ韓日大会

＜2003年度＞

- ・GE社の「シックスシグマ」手法を用いたサロン2002の課題の検討（5/24）
- ・サロン2002の月例会を活性化するには（サロン2002活性化プロジェクト）（6/26）
- ・いまいちどサロン2002のあり方を考える（2004年2/26）

＜2004年度＞ ... 月例会100回記念

- ・サロン2002のあゆみ-月例会100回記念パーティ（2005年3/31）

＜2005年度＞ ... 「総会」を月例会回数に加えるようになる

＜2006年度＞ ... 「サロン2002」10周年

- ・サロン2002の10年を振り返る①-10年間（10年以上）の環境の変化とサロンの変化（12/19）
- ・10周年記念パーティ（2007年2/24）

＜2007年度＞

- ・サロン2002にバーチャルなコミュニティは必要か（7/19）

＜2008年度＞ ... お宝映像上映会兼忘年会はじまる

- ・サロン2002のホームページをリニューアルしよう（6/27）

＜2009年度以降＞

月例会で取り上げられることはないが、総会では必ず議論に

### ◆「サロンin桑名」の可能性（山下則之氏より） 4月14日付メール

（前略）三重県桑名市でJリーグのチームを作る動きに私もお手伝いをしています。ベースは総合スポーツクラブです。空きが多くなった工場を再利用して地域に還元しようとしている所がネタとして面白いので、4月25日発売の東海財界という月刊誌が取り上げました。（中略）

この取り組みはNHK津放送局も興味を持っていて近日中に取材が有ると思います。シンポジウムで取り上げて頂けるとしたらその時にマスコミにも参加してもらおう方法も有りかと思います。（三重テレビでは月1回ヴィアティン応援番組が有ります。）

12日、JリーグにはJ3参加の申請を相談してきました。とりあえず準加盟申請をします。

よろしくお願い致します。山下則之

### ◆「サロンin大連」の可能性（井田征次郎氏より） 4月18日付メール

私は今ビザの申請のために日本にまだおり、現地にはまだ入っておりません（おそらく来週中には

行けると思います) したがって現地の様子や勝手がまだ全くわかっていない状態ですので、サロンin大連ができそうかどうか、現地に入ってから連絡を取り合うという形でよろしいでしょうか?

中国遼寧省サッカー協会

遼寧省U-19選抜チームフィジカルコーチ

井田征次郎 (IDA SHOJIRO)

#### ◆月例会のアイデア (宮明透氏より) 4月19日付メール

(前略) スポーツと社会との接点、サッカーと社会との接点を、根源からもう一度問い直してよいのかなとも思っております。来季にはJ3もできますし、日本中にJリーグクラブが存在するようになります。それが、地域にどう関わっていけるのか? そういったことを、もう少し根っこから問い直すことはできないのかな?

法人化については、ここまで組織ができてくると、確かにその方向に流れていかざるを得ないのかな・・・と思っております。

個人的には溝畑前観光長官の「スポーツと観光」の話とJクラブ社長の裏表体験話があればと思っております。新年度は、スポットでやりたいなと思っております。

#### ◆月例会のアイデア (嶋崎雅規氏より) 4月19日付メール

理事の嶋崎です。先ほど、会員の浦和氏が営業に来て、サロンの月例会について話をしました。6月15日(土)14:00 kick off 秩父宮ラグビー場で行われる日本代表vsウェールズ代表の試合に先立って、日本青年館あたりの会議室を借り、代表経験者に1時間ほどレクチャーをしてもらい、それから試合を観戦、その後飲みに行くという企画を考えました。会員の村田互氏は代表経験者ですし、それ以外でも話してもらえそうな候補はいます。(現・山梨県高体連事務局長・梶原氏(筑波大学OB)などは頼みやすい。)当日は、浦和氏もお手伝いいただけるようです。

(以下は別便)

「スポーツ指導のあり方」については、ぜひ月例会で取り上げたい話題です。嶋崎がコーディネーターor演者となり行えるのではないかと思います。少年の指導や運動部活動の指導など、探せば話題はいくらでもあるかと思えます。

NPO法人化については、その功罪がよくわかっていないのでなんとも言えません。しかし、この時代の流れから法人化は避けられないものかと考えています。法人を立ち上げた経験がある方や法律に詳しい方(弁護士の方もいらっしゃるから)に意見をいただいて進めていくべきかと思えます。